

# 4月 たにまちな能

4月1日(日)  
午後1時開演

能

## 百萬

ひやくまん

山本 博通

## 法楽之舞

ほうらくのまい

素謡

## 熊野

ゆや

今村 一夫

### 仕舞 弓八幡

ゆみやわた

山下 あさの

### 仕舞 雲雀山

ひばりやま

松浦 信一郎

### 仕舞 善知鳥

うしろ

山本 章弘



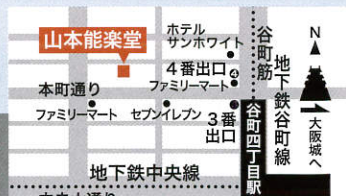
国登録有形文化財山本能楽堂  
公式ホームページをご覧ください

<http://noh-theater.com>

主催/公益財団法人 山本能楽堂

入場券 ●一般券 5,500円 ●学生券 3,000円 綴り割引券(4回分) ●一般券 20,000円

主催・お問い合わせ 山本能楽堂 / Tel. 06-6943-9454 FAX. 06-6942-5744 e-mail ticket@noh-theater.com



地下鉄谷町四丁目④番出口より、  
北に一筋目の角を左へ100m、南側(徒歩5分)



13時始

素謡 **熊野**

シテ(熊野) 今村 一夫  
ツレ(朝顔) 林本 大  
ワキ(平宗盛) 波多野 晋  
ワキツレ(従者) 山本 麗晃

地謡 山本 順之  
森本 哲郎  
河村浩太郎  
井上 俊明



今村 一夫

●あらすじ

京の都で権勢を振るう平宗盛に仕えている女、熊野は最近故郷の母の病状が思わしくないと聞き、故郷に帰りたいと休暇を願い出ますが、宗盛は今年の花見までは一緒に過ごそうと言って、聞き入れません。その頃、熊野の一家の侍女である朝顔が、母の手紙を持って訪れます。文には、病状が思わしくなく、今生の別れが来る前に一目でも会いたいという切々とした母の願いがしたためられていました。一刻も猶予はないと熊野は、母の手紙を宗盛に読み聞かせ、帰郷の許しを一心に願います。しかし宗盛は、許すどころか清水寺の花見に同行するように命じます。

春爛漫の中、楽しい京都の人々の様子を見ても、熊野の心は故郷への思い、母への気遣いで沈みがちです。心ならずも酒宴で舞を舞っていると、急に時雨が来て、花を散らしてしまいました。これを見た熊野は、母を思う和歌を一首読み上げました。その歌はかたくなな宗盛の心に届き、ようやく帰郷が許されます。熊野は、宗盛が心変わりしないうちに、と急いで京を立ちました。

狂言 **千鳥**

シテ(太郎冠者) 善竹 隆司  
アド(酒屋) 善竹忠一郎  
アド(主人) 上西 良介

後見 上吉川 徹

●あらすじ

太郎冠者が酒乱で有名な男を主人の酒の相手に招いてしまいます。主人は適当にあしらって帰そうと考え、冠者には自分の真似をしてうまく対応せよといひ含めます。ところが冠者は、主人が言った通り文字どおりの真似を繰り返します。腹をたてた主人は、冠者を引き回して倒し、客に挨拶して奥に入ってしまう。すると、太郎冠者も同じように…。

1593年(文祿2)の禁中能で豊臣秀吉、徳川家康、前田利家の3人が演じた「耳引」という狂言はこの曲かといわれています。

仕舞 **う八幡** 山下 あさの

**雲雀山** 松浦 信一郎

**善知鳥** 山本 章弘

地謡 今村 一夫 今村 宮子 林本 大 前田 和子

休憩 10分

15時過ぎ頃

能 **百萬法樂之舞**

シテ(百万) 山本 博通 後見 松浦信一郎  
子方(百万の子) 今村 晏 山下あさの  
ワキ(里人) 廣谷 和夫  
ワキツレ(男) 是川 正彦  
アイ(門前の者) 善竹 隆平



山本 博通

笛 赤井 啓三 地謡 山本 章弘  
小鼓 清水 皓祐 波多野 晋  
大鼓 辻 芳昭 森本 哲郎  
太鼓 上田 悟 今村 宮子  
今村 一夫  
林本 大  
河村浩太郎  
前田 和子

(終了予定 16時半頃)

●あらすじ

大和国吉野に住む男が、西大寺の辺りで親とはぐれた少年を拾い、嵯峨野の清涼寺へやってきます。頃は春真盛り、清涼寺では大念仏が行なわれています。この念仏に誘われて百万が現れ、なんと下手な念仏よと門前の男を笹で打ち追ひ払い、私が音頭を取ろうと念仏をととなはじめます。そして、さらに子を思う心情をうたい舞います。少年は母であることに気づき、男によそごとのようにたずねるよう頼みます。男が郷里や、どうして狂人となったのかとたずねると、百万は幼子に生き別れになったので心が乱れた事を述べ、我が子に逢うための舞を見て下さいと、故郷を狂い出した心情や、奈良から清涼寺までの道中の様子、春の嵯峨野の景色や清涼寺釈迦堂のいわれなどを曲舞につくり、謡い舞います。百万はいよいよ狂乱となって、御仏に必死に手をあわせませす。都の男は、見るもいたわしいと子を引寄せませす。百万は喜びこれも本尊釈迦如来のお導きで逢うことができたのだと仏の力のありがたいことと奈良の都へ帰っていきました。

この能には、他の狂女物に少ない、華やかさと浮き立つものがあります。シテの登場や、これに続く歌念仏、当時祇園会に出たという女曲舞の舞車を引くさまを模したものと思われる「車ノ段」、続いて「笹ノ段」と息もつかせぬ華やかさです。烏帽子に長絹姿がいつそう華やかさを増します。

山本能楽堂後援会 会員募集のお知らせ

山本能楽堂は大阪市中央区徳井町(谷町4丁目)に、山本家先代 山本博之が昭和2年に建設しました。その後戦火に逢い、一度消失しましたが、昭和25年に再建し、現在に至っております。そして更なる能楽の普及、発展を目指し、公益財団法人 山本能楽堂を発足致しました。それに伴い、さらに広く皆様方に能楽の楽しさに触れて魅力を感じて頂くため、2016年山本能楽堂後援会を発足させて頂きました。会員になっていただきますと、たにまち能公演のほか、山本能楽堂主催公演のご招待券・会員様のみのイベント等、様々な特典をご利用いただけます。詳しくは、山本能楽堂HPまたは事務所までお問い合わせくださいませ。皆様のご入会をお待ち申し上げております。

個人会員		
名称	年会費1口	会員特典
ブロンズ会員	5,000円	主催公演招待券 1枚
シルバー会員	10,000円	主催公演招待券 2枚
ゴールド会員	30,000円	主催公演招待券 6枚
プラチナ会員	100,000円	主催公演招待券 20枚

・会員期間：毎年1月1日～12月31日 ・法人会員様のご用意もごございます。

山本能楽堂+team OKINAが開発した無料アプリ

能について楽しく学べる能楽アプリ能のアニメやゲームもあります。気軽にダウンロードしてください。

能について  
楽しく学べる  
アプリ!



▲ iOS



▲ Android

※許可なく撮影、録音は著作権、肖像権などに抵触いたしますので、ご遠慮下さいますようお願い申し上げます。

今回の **たにまち能**

平成30年9月1日(土)13時開演

●能 **井筒** 森本 哲郎 ●能 **野守** 山下 あさの  
他 狂言 仕舞